

「新町と松倉豊後守重政400年記念事業」 第2回記念講演会

- 日時 7月6日(日) 午後3時～5時
- 会場 二見公民館(二見2丁目5-1)
- テーマ 「松倉重政の光と影」
- 講師 吉田栄治郎先生(奈良県立同和問題関係史料センター)
- 参加費 無料(事前の申込は不要です)
- 問合先 「新町と松倉豊後守重政400年記念事業」実行委員会事務局
 ☎23・2203(まちや館内)



松倉重政の顕彰碑が建てられました

新 町1丁目の新町松倉公園に、江戸時代に新町を開いた松倉重政の顕彰碑が建立され、4月27日に除幕式が行われました。

顕彰碑は新町が現代まで発展する基礎を築いた松倉公の遺徳を讃えるもので、新町創設から400年にあたる今年に合わせ、「新町と松倉豊後守重政400年記念事業実行委員会」(榎野久春委員長)の呼びかけで、市民の皆さんから集められた寄付で建てられました。

除幕式には榎野委員長・吉野市長等に加え、東京から重政の子孫に当たる松倉晋一さん、圭子さんご兄妹も参加しました。

両氏はその後、五條文化博物館で展覧会「新町誕生」を見学し、五條で厚い尊敬を集める松倉公に思いをはせました。

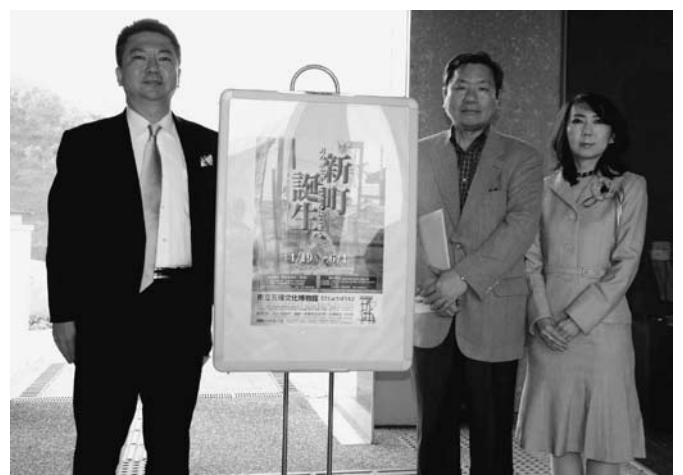
また五條文化博物館では5月18日に「松倉重政と二見城」と題して、松倉重政による城と城下の新町などの建設について、千田壽博氏(奈良大学文学部文化財学科准教授)の公演が行われました。会場には多数の歴史ファンが来場し、千田氏の話に熱心に耳を傾けていました。



顕彰碑の除幕を行う関係者



公演する千田氏



松倉さんご兄妹(両端)と榎野委員長(五條文化博物館)